

エキシビジョン Exhibition**中心概念 Central Idea**

- Challenging new things is necessary to change the world.

➤

キーコンセプト Key Concept

- Form 仕組み
- Function 機能
- Causation 要因
- Change 変化
- Connection つながり
- Perspective 視点
- Responsibility 責任
- Reflection 振り返り

教科を横断した学び

- これまで学習してきたすべて

単元のねらい

- セントラルアイディアの下、自分の興味のあるテーマを探究し、思考力と関心を深めること。
- テーマ設定から探究の問いの設定、リサーチ、発表など、研究の一連の流れを経験し、中高学校での更なる探究のための資質を形成する。

目指す学習者像

- Inquirer 探究する人
- Reflective 振り返る人
- Communicator コミュニケーションをとる人
- Open-minded 思いやりのある人
- Risk-taker 挑戦する人
- Thinker 考える人

単元を通してこんな子供になってほしい！（目指す価値変容）

グローバルクラス6年生の子どもたちはこの3年間の探究を通して、多種多様な問題について考え、自分たちに何ができるかを問い、行動してきました。しかしそれだけでなく、学び方についても体感しながら学ぶことができました。その経験を活かし、自分の探究テーマを探究サイクルに則って発表までつなげる過程に挑戦してほしいと思います。そして、それがこれからの学習にもきつと生きていくことを願います。

単元の成果と課題

- ◎ 事前にカリキュラムマップを作成し、学習方法や評価方法のバランスを調整した。また、単元の見通しが具体的に立った。
- ▲ スタートが遅かった。できれば、セントラルアイディアの構想は2学期の後半から始めることが望ましい。
- ▲

総括的評価課題 Summative assessment tasks

- プレゼンテーション（ポスター・パワーポイント）
 - セントラルアイディアとの関連性
 - 自分自身の考え

本単元で教師が教えるべき指導事項（知識・技能）

- 参考文献の書き方
- 剽窃・盗用につながるケースと防止策
- 表やグラフの効果的な活用法
- 効果的なプレゼンの方法
- キーコンセプト クエスチョンの活用法
- ラーニングピットの活用法
- メンター制度
- アンケートをとる際の注意点

次年度へのカリキュラム改善案を提示 (PDCA→P)

黒字 = 学習活動
青字 = 形成的評価課題
赤字 = 評価の観点

①発表 (ポスター・パワーポイント) **2/24~**
 内容、ポスター、プレゼン能力、惹きつけ
 ②発表会後の振り返り、まとめ 次につながる振り返り
プレゼンループリック①、レポート②
主体性、自己管理スキル、シンキングスキル、コミュニケーションスキル

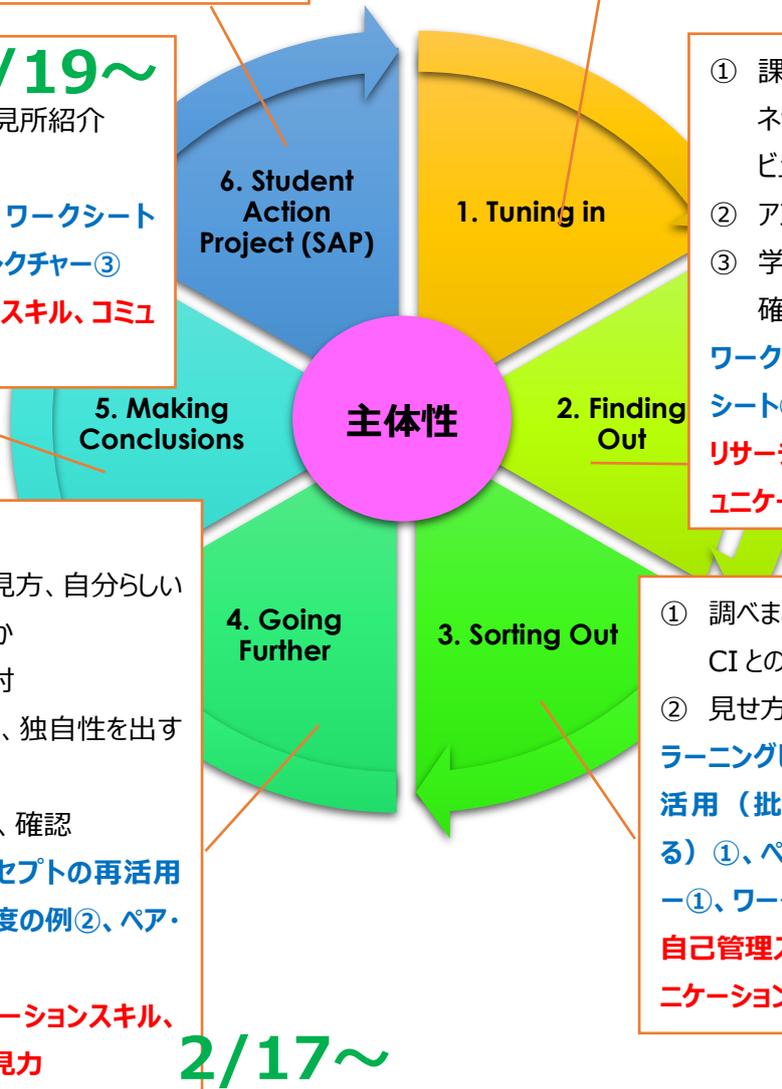
① トピックを決める。 **~1/31**
 興味関心・得意・社会問題・注目されている
 → 2つ候補をあげる (リサーチ可能か検証)
 ② 自分の知っていることを確認する。
 ③ 課題 (LOI) を見つける。
 → 2つのトピック候補から1つにしぼる
ワークシート①、KWL (Y チャート見聞感考) ②、キーコンセプト活用③、ワークシート③、コンサルテーション③、
主体性、シンキングスキル、課題発見力

① ポスター制作 **2/19~**
 ② ビデオ 探究の振り返り・見所紹介
 ③ 良いプレゼンの方法
ラーニングピットの活用①、ワークシート①、レクチャー①、動画②、レクチャー③
自己管理スキル、シンキングスキル、コミュニケーションスキル

① 課題 (LOI) に対するリサーチ ネット、本、フィールドワーク、インタビュー、実験、アンケート、観察
 ② アンケートの取り方
 ③ 学問的誠実性と情報の信頼性の確保 (参考文献・剽窃防止)
ワークシート①、レクチャー②、ワークシート③、レクチャー③
リサーチスキル、シンキングスキル、コミュニケーションスキル ~2/7

① 更なるリサーチ CI との関連性、他の見方、自分らしいプレゼン、情報は十分か
 ② 掲示方法、内容の検討 追加リサーチ、購入物、独自性を出す工夫
 ③ 発表原稿の内容検討、確認
ワークシート①、キーコンセプトの再活用①、ワークシート②、昨年度の例②、ペア・グループチェック③
リサーチスキル、コミュニケーションスキル、シンキングスキル、課題発見力
2/17~

① 調べまとめたものをチェック CI との適合性、更なる情報の必要性
 ② 見せ方、伝え方の工夫 (図表)
ラーニングピットの活用①、思考ツールの活用 (批判的に捉え、思考を整理する) ①、ペア・グループチェック①、メンター①、ワークシート②
自己管理スキル、シンキングスキル、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキル
~2/14



備考

- ・自分の探究の過程がよく見えるよう、探究している姿や成果物を掲示していく必要性を感じる。
- ・子どもと共にセントラルアイデアをつかっていく場合、どのような方法がよいのかの研修が必要である。
- ・必要に応じて、テレビ会話やメールを使って世界中の研究者や専門家から意見をもらうことができればありがたい。
- ・メンターの導入をどうするか話し合う必要がある。(条件をそろえること・希望をとるかどうか・日英の選択・誰に頼むか)
- ・校外学習を学級で取り入れるのは難しいが、同じことをしている他の学校の事例を見学したり、質問や意見を言い合ったりする機会は設けることができる。タイミングが難しい (香港の学校は春にエキシビション→日本の学校と?)。